

博報堂は、5月17日に「チーム・マイナス6%」に企業参加して以降、社長以下2900人の全社員が一丸となって地球温暖化防止に取り組んできました。(現在も継続して活動中)

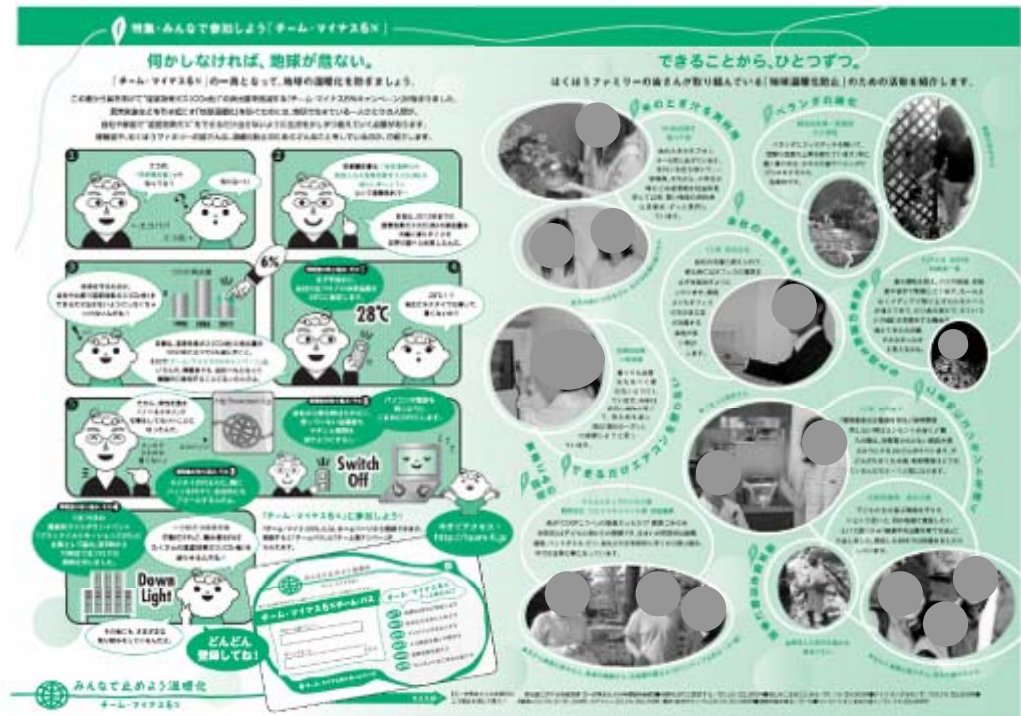
- ①6月1日に、社内イントラネットを通じて、社長から全社員に対して、博報堂が「チーム・マイナス6%」に参加しCO2排出削減のために具体的に取り組むことを全社に周知。
- ②同時に、社長を委員長とする全社横断組織「チーム・マイナス6%」推進委員会を設立。
- ③7月1日～9月30日の間、冷房温度を28℃に設定。
- ④これに伴い、男性社員に対して、夏季期間中のノーネクタイを奨励。
- ⑤7月1日に、全社員に「チーム・マイナス6%」キャンペーンピンバッジを配布し、啓発を徹底。(2900人分)
- ⑥同時に、グループ企業である博報堂DYメディアパートナーズ他関係会社にもピンバッジを配布。(2300人分)
- ⑦「チーム・マイナス6%」ロゴマーク入りの名刺を全社員に配布。(@100枚×2900人＝全29万枚)
取引先企業に対して、博報堂の取組をアピールするとともに、「チーム・マイナス6%」への参加を呼びかけ。

名刺での記載例



- ⑧社内イントラネットのスクリーンセ이버を媒体化し、“冷房温度28℃の徹底”、“使用しない会議室の消灯の徹底”、“退社時のPCの電源OFFの徹底”を社内啓発。
- ⑨6月19日のライトダウンイベント「ブラックイルミネーション2005」に企業参加し、当日20:00～22:00の2時間、博報堂の全フロアを消灯。さらに、ビル管理会社を通じて協力を要請し、他社の入居フロアも消灯。
- ⑩社員家族向け社内報「はくほうファミリー」を通じて、社員の家族にも啓発を実施。(2900世帯に配布) 特集タイトル「みんなで参加しよう、チーム・マイナス6%」(社員と家族から、家庭での省エネアイデアを募集・掲載)
- ⑪冬季(12月1日～)の空調温度に関しては、機密性に優れたビルのため、そもそも暖房機能が無いことから、総務局がビル管理会社と協議・検討し、最もエネルギー消費量の少ない25℃を設定温度とし、全社に徹底。

社内報での掲載



■これらの活動の結果、博報堂本社ビルにおける平成17年度の電気使用量は前年度比で94.81%となりました。